

第3回

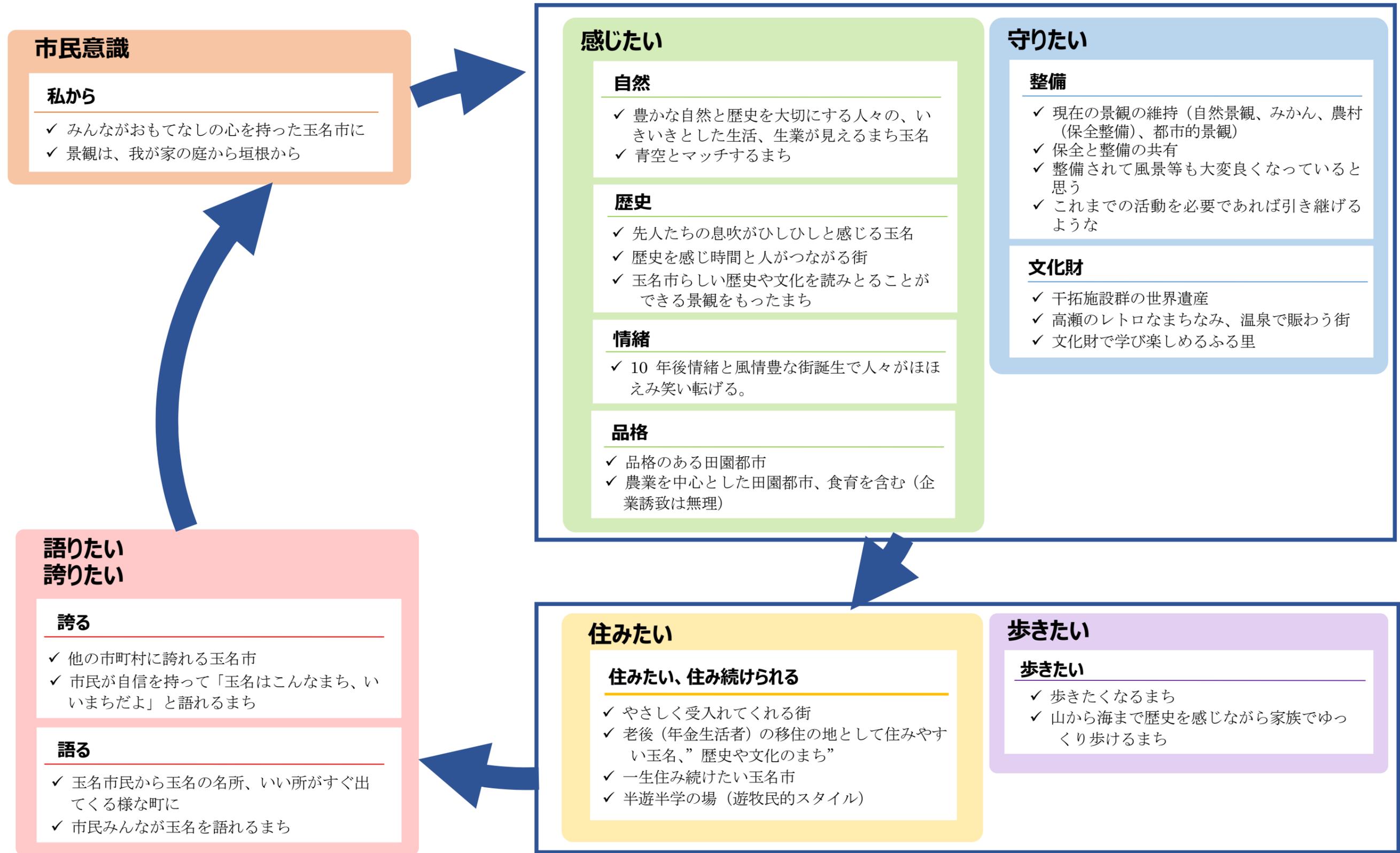
玉名市景観計画策定委員会

-ワークショップ結果まとめ-

目次

1 玉名市の景観ビジョン(第三回景観計画策定委員会の意見より)	1
2 玉名市の景観課題の整理(第三回景観計画策定委員会の意見より).....	2
3. 景観計画の方針案.....	3

1. 玉名市の景観ビジョン（第三回景観計画策定委員会の意見より）



2. 玉名市の景観課題の整理（第三回景観計画策定委員会の意見より）

	課題 1 見せたい、見てもらいたい景観が効果的に見せられていない	課題 2 先人たちが遺してきた景観資源を受け継ぎ、活用していくことが困難になりつつある	課題 3 景観に対する興味・関心・問題意識が十分でない
地域の資源に 価値を付加する	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 見せたい、見てもらいたい景観自慢コンクール ✓ 玉名市景観 100 選を公募する ✓ 景観ランキング ✓ 玉名市景観賞の創設 ✓ 景観を構成する要素のひとつひとつの見直しを図る⇒価値付けを行なう。文化財としては指定すること。国が認めた、県が認めた価値付け ✓ 景観の価値付けを行なう（※指定や登録など） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 遺構と現役の区別 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 景観百選などの実施 ✓ 景観に関するコンテスト、賞などをつくる
情緒ある場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 癒される視点場の掘り起こし ✓ 見る場所を決めて整備しアピール！ ✓ 高瀬のまちなみ整備 ✓ 点を結ぶ（石、水、積む） ✓ 広域的に菊池川（軸） ✓ 整備はもちろんですが、案内板をきちんと用意し示す 	—	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 電線の地中化などに取り組む ✓ 屋外広告物の統一なども ✓ モデル地区を決めて意識付けをし、変わってきたところと比較する。 ✓ 絞り込んだ地区を重点的に誇れる景観につくり上げる。自分の住んでいる地域もという気持ちがわくような意識改革。
景観の魅力を高める 担い手づくり	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 景観ボランティア（市内）、語り部、案内 ✓ 景観 G メン、コーディネーター、各支所配置 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 景観ボランティア（市内+市外）（維持・保全） ✓ ボランティアや協力者の育成 ✓ 語り部の育成 ✓ 官民一体となって協働で支える ✓ 景観まちづくり活動への補助 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 生産、労働、技術等は若者に、介護、保守、保全は高齢者に！ ✓ ボランティアや協力員の育成 ✓ 農政、林務などと協力する ✓ 景観モニター制度
玉名魂を受け継ぐ 景観教育	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 小中学間の交流、インターネットやメールも可 ✓ すばらしい景観にどのくらい価値があるのか理解し伝える ✓ 学校教育に於ける「玉名学」の効果は（※検討して今後活かす） ✓ 景観教育など 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 保全活動に小中学生を巻き込む（子供の頃から） ✓ 学校での景観教育の実施 ✓ 教育 ✓ 社会教育、地域の公民館活動による愛着心と共有の心 ✓ 地元小学校の勉強の場として活用する ✓ 市民に身近な景観の良さを再発見してもらう。地区長単位での研修会、村座談会等での啓蒙活動 ✓ 受け継ぎ活用していくことは、高齢になって難しい。市民一人ひとりで協力して守る。 ✓ 魅力がないから担い手が育たないのでは？ ✓ 自分の仕事に自身を持って、日頃より子供に見せ体験させる ✓ 担い手として誇りを持つことができる環境づくり。大変さばかりではなく誇りを持って楽しくやっていけるような 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 小さい時から関心をもたせる（地元協力、学校等での授業、体験等） ✓ 学集会の開催 ✓ 学習会で知識を深める ✓ ”玉名学”の内容は？”玉名学”との関連、連動 ✓ まずは知ること、知ってもらうこと。景観という大きなもの前に身近にある庭先のことから考えていけるような取り組み。町内単位の方がわかりやすいかも。 ✓ 継続した学習会や啓発活動を地道にやっていく！
玉名の「ものがたり」 を伝える	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ビデオに収録。歴史的な説明も取り入れて、市役所ロビーや教育現場、市民の集会等で披露する。 ✓ むずかしい問題であるが、一人一人の情報、思いを市民に伝え知ってもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 景観資源のストーリーブック（玉名人検定の復活）（※子供を対象に） ✓ プレゼンテーションの方法を学ぶ（重複） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プレゼンテーションの方法を学ぶ（重複） ✓ 「広報たまな」を使い、玉名らしい景観の説明を市民の方へ知らせる ✓ 市のホームページ、市パンフレットでの啓発広報 ✓ 広報を拡大して、市民に情報提供する ✓ 広報紙の利用、説明版・案内板の充実
他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 景観という観点で観光振興 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ まずは特化して実行し市民の判断を仰ぐ

3. 景観計画の方針案

	課題1 見せたい、見てもらいたい景観が効果的に見せられていない	課題2 先人たちが遺してきた景観資源を受け継ぎ、活用していくことが困難になりつつある	課題3 景観に対する興味・関心・問題意識が十分でない
地域の資源に 価値を付加する	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 見せたい、見てもらいたい景観自慢コンクール ✓ 玉名市景観100選を公募する ✓ 景観ランキング ✓ 玉名市景観賞の創設 ✓ 景観を構成する要素のひとつひとつの見直しを図る⇒価値付けを行なう。文化財としては指定すること。国が認めた、県が認めた価値付け ✓ 景観の価値付けを行なう（※指定や登録など） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 遺構と現役の区別 <p>方針1 玉名の情緒ある景観をみせる場づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 景観百選などの実施 ✓ 景観に関するコンテスト、賞などをつくる
情緒ある場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 癒される視点場の掘り起こし ✓ 見る場所を決めて整備しアピール！ ✓ 高瀬のまちなみ整備 ✓ 点を結ぶ（石、水、積む） ✓ 広域的に菊池川（軸） ✓ 整備はもちろんですが、案内板をきちんと用意し示す 	—	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 電線の地中化などに取り組む ✓ 屋外広告物の統一なども ✓ モデル地区を決めて意識付けをし、変わってきたところと比較する。 ✓ 絞り込んだ地区を重点的に誇れる景観につくり上げる。自分の住んでいる地域もという気持ちがかわくような意識改革。
景観の魅力を高める 担い手づくり	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 景観ボランティア（市内）、語り部、案内 ✓ 景観Rメン、コーディネーター、各支所配置 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 景観ボランティア（市内+市外）維持・保全 ✓ ボランティアや協力者の育成 ✓ 語り部の育成 ✓ 景観まちづくり活動への補助 <p>方針2 玉名の景観を守り・育て・活かす担い手づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 生産、労働、技術等は若者に、介護、保守、保全は高齢者に！ ✓ ボランティアや協力員の育成 ✓ 農政、林務などと協力する ✓ 景観モニター制度
玉名魂を受け継ぐ 景観教育	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 小中学間の交流、インターネットやメールも可 ✓ すばらしい景観にどのくらい価値があるのか理解し伝える ✓ 学校教育に於ける「玉名学」の効果は（※検討して今後活かす） ✓ 景観教育など 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 保全活動に小中学生を巻き込む（子供の頃から） ✓ 学校での景観教育の実施 ✓ 教育 ✓ 社会教育、地域の公民館活動による愛着心と共有の心 ✓ 地元小学校の勉強の場として活用する ✓ 市民に身近な景観の良さを再発見してもらう。地区長単位での研修会、村座談会等 ✓ 受け継ぎ活用していくことは、高齢になって難しい。市民一人ひとりが力がないからという気が持たないのでは？ ✓ 自分の仕事に自身を持って、日頃より子供に見せ体験させる ✓ 担い手として誇りを持つことができる環境づくり。大変さばかりではなく誇りを持って楽しくやっていけるような <p>方針3 玉名の誇りを受け継ぐ景観の意識づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 小さい時から関心をもたせる（地元協力、学校等での授業、体験等） ✓ 学集会の開催 ✓ 学習会で知識を深める ✓ “玉名学”の内容は？ “玉名学”との関連、運動 ✓ まずは知ること、知ってもらうこと。景観という大きなものの前に身近にある庭先のことから考えていけるような取り組み。町内単位の方がわかりやすいかも。 ✓ 継続した学習会や啓発活動を地道にやっていく！
玉名の「ものがたり」 を伝える	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ビデオに収録。歴史的な説明も取り入れて、市役所ロビーや教育現場、市民の集会等で披露する。 ✓ むずかしい問題であるが、一人一人の情報、思いを市民に伝え知ってもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 景観資源のストーリーブック（玉名人検定の復活）（※子供を対象に） ✓ プレゼンテーションの方法を学ぶ（重複） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プレゼンテーションの方法を学ぶ（重複） ✓ 「広報たまな」を使い、玉名らしい景観の説明を市民の方へ知らせる ✓ 市のホームページ、市パンフレットでの啓発広報 ✓ 広報を拡大して、市民に情報提供する ✓ 広報紙の利用、説明版・案内板の充実
他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 景観という観点で観光振興 	—	<ul style="list-style-type: none"> ✓ まずは特化して実行し市民の判断を仰ぐ